

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【人権メッセージ】	各クラスで人権について考え、親切心やいじめ、思いやり、ふわふわ言葉など、みんなで気持ちよく過ごすために必要な人権感覚について話し合った。発展的な取組として、みんなに伝えたい人権に関する経験について思い起こし、「人権メッセージ」の作成をした。 また、「人権メッセージ」で優秀作品に選ばれた児童の作品は、掲示をした。
	成果 学校全体で取り組むことで、みんなが笑顔で過ごすためにできることや、相手のことを思いやることなどを考えることができた。一人一人が考えることで人権感覚の育成につながられた。
	課題 「人権メッセージ」を書いて、掲示した後の活用ができなかった。さらに人権感覚を育成するためにも、掲示したものを人権集会等につなげていけるようにしたい。
2 実践2 【No！いじめ集会】	運営委員会と生徒指導部が中心となり、みんなが笑顔で過ごせるようなクラスを作るために、1学期前半に「No!いじめ集会」を行なった。子供たちが主体となり、いじめや友達についてのメッセージを入れたスライドを上映したり、道徳の授業を通して各クラスで、考えたいじめがなくなるためのスローガンを発表したりした。
	成果 子供たちが主体となることで、みんなでいじめについて考えることができた。また、「No！いじめ集会」のスローガンを作成する際もみんなで考えることで、これからの生活をよりよくしていこうという意識が高まった。スローガンは掲示板や教室に掲示することで、いつでも意識することができた。
	課題 学年の最後に、スローガンを守れたか十分に振り返る時間を取り、各学年の振り返りを共有できると、さらにいじめをなくすことや相手思いやることの大切さを考えることができるようになると感じた。来年度に向けての見通しをもたせるためにも、振り返りも丁寧に組みませたい。